

タキロンシーアイ株式会社

たゆまぬ改革でクリエイティブティ発揮

新たな付加価値を提供し「選ばれる会社」に

タキロンシーアイは、タキロンの母体となった瀧川セルロイド工業所によるセルロイド生地の製造開始から今年10月に100周年を迎える。2017年にはタキロンとシーアイ化成が合併してタキロンシーアイが発足。プラスチック加工の総合メーカーとしての存在感を大きく高めており、推進中の中期経営計画「Good chemistry Good growth 2020」で、新生タキロンシーアイとして生まれ変わるための構造改革とともに、成長領域、新規領域の拡大に取り組んでいる。南谷陽介会長CEOと齋藤一也社長COOに今後目指す姿などについて聞いた。



南谷 陽介 代表取締役会長CEO

過去に残れない
100周年おめでとう
ごさいます。振り返って感
想をお聞かせください。
南谷会長「過去を振り返
ると、旧タキロンも旧シー
アイ化成の横濱ゴム時代
も、創立からの数十年は相
当な起業家精神やクリエイ
ティブティを発揮してきた
のでしようが、昭和40年代、
50年代になると、紙や木、鉄
がプラスチックに変わって
いく時代になり、しかも日
本は高度経済成長期。景気
がよく、ある意味、誰でも
儲かる時代」といえたと思
います。そうして時代はず
でに過ぎ去っていますが、
今でも高度成長期の仕事
やり方を引きずっているこ
ろがあります。この低成
長時代、国内売上高比率7
割の会社として、やり方を
大きく変え、クリエイティ
ブティを発揮していかないと
勝ち残れないと発破をか
けています」

南谷会長「さまざまな課
題を棚卸するために絶好の
機会となりました。一昨年、
昨年とさまざまな構造改革
を実施してきました。しか
し実はその中身は、旧タキ
ロンや旧シーアイ化成がそ
れぞれ過去何年もかけて議
論していたことを、かつて
の組織の中できれいにした
だけのことです。重荷はな
くなり、合併したからこ
そやるべきことは、これか
らみんなで考えていかないと
いけません」

齋藤社長「旧タキロンと旧
シーアイ化成は、それぞれ互
いに大きな規模の会社でし
た。しかし、旧タキロンをみ
ても、買収した会社を子会社
としておいただけで、グルー
プの連携を深める対策を打ち
出されていらない面もあり
ました。合併を機にグループ
シナジーを生み出せるよう
大きく変えることができた
のはやはりいいきっかけと
なっています。時流に乗
る、一言で100年といっ
ても両社とも節目ごとに変
化し、危機を乗り越えてきた
歴史もついています。時流に
乗らないと100年は続か
ない、それは今後についても
同じことが言えます」

競争力ある工場を
「見える化」
一人材交流については、
齋藤社長「工場長レベルは
合併後1年で相当異動して
もいました。これからもつ
と広い階層で異動も含め人
事交流を進め、複数の工場に
かかわってもらうことで、工
場ごとの違いを考慮してもら
い、競争力のある工場を見
える化できるようにします」

南谷会長「さまざまな課
題を棚卸するために絶好の
機会となりました。一昨年、
昨年とさまざまな構造改革
を実施してきました。しか
し実はその中身は、旧タキ
ロンや旧シーアイ化成がそ
れぞれ過去何年もかけて議
論していたことを、かつて
の組織の中できれいにした
だけのことです。重荷はな
くなり、合併したからこ
そやるべきことは、これか
らみんなで考えていかないと
いけません」

南谷会長「さまざまな課
題を棚卸するために絶好の
機会となりました。一昨年、
昨年とさまざまな構造改革
を実施してきました。しか
し実はその中身は、旧タキ
ロンや旧シーアイ化成がそ
れぞれ過去何年もかけて議
論していたことを、かつて
の組織の中できれいにした
だけのことです。重荷はな
くなり、合併したからこ
そやるべきことは、これか
らみんなで考えていかないと
いけません」

南谷会長「さまざまな課
題を棚卸するために絶好の
機会となりました。一昨年、
昨年とさまざまな構造改革
を実施してきました。しか
し実はその中身は、旧タキ
ロンや旧シーアイ化成がそ
れぞれ過去何年もかけて議
論していたことを、かつて
の組織の中できれいにした
だけのことです。重荷はな
くなり、合併したからこ
そやるべきことは、これか
らみんなで考えていかないと
いけません」

トビオウジャパンから
社会までを支える
100年企業。
行こう、次の100年へ。
今日を変え、明日を変え、
100th
これまでも、これからも

南谷会長「さまざまな課
題を棚卸するために絶好の
機会となりました。一昨年、
昨年とさまざまな構造改革
を実施してきました。しか
し実はその中身は、旧タキ
ロンや旧シーアイ化成がそ
れぞれ過去何年もかけて議
論していたことを、かつて
の組織の中できれいにした
だけのことです。重荷はな
くなり、合併したからこ
そやるべきことは、これか
らみんなで考えていかないと
いけません」

南谷会長「さまざまな課
題を棚卸するために絶好の
機会となりました。一昨年、
昨年とさまざまな構造改革
を実施してきました。しか
し実はその中身は、旧タキ
ロンや旧シーアイ化成がそ
れぞれ過去何年もかけて議
論していたことを、かつて
の組織の中できれいにした
だけのことです。重荷はな
くなり、合併したからこ
そやるべきことは、これか
らみんなで考えていかないと
いけません」

南谷会長「さまざまな課
題を棚卸するために絶好の
機会となりました。一昨年、
昨年とさまざまな構造改革
を実施してきました。しか
し実はその中身は、旧タキ
ロンや旧シーアイ化成がそ
れぞれ過去何年もかけて議
論していたことを、かつて
の組織の中できれいにした
だけのことです。重荷はな
くなり、合併したからこ
そやるべきことは、これか
らみんなで考えていかないと
いけません」

タキロンシーアイ 100年のあゆみ

1919年 創立 <ul style="list-style-type: none">瀧川佐太郎、大阪府東成郡小路村大字片江(現大阪市生野区)に「瀧川セルロイド工業所」を創設し、再製セルロイドの販売開始	1935年 <ul style="list-style-type: none">兵庫県播磨郡御津町(現たつの市御津町)に網干工場を新設	1959年 <ul style="list-style-type: none">「タキロン化学株式会社」に社名変更し、社章を制定	1971年 <ul style="list-style-type: none">ハマ化成株式会社と神戸樹脂株式会社は合併し、「シーアイ化成株式会社」に社名変更(資本金8億円)	1982年 <ul style="list-style-type: none">水膨張性止水材「ピノンハイドロタイト」販売開始	2000年 <ul style="list-style-type: none">兵庫県播磨郡御津川町(現たつの市御津川町)に播磨川事業所を新設
1928年 <ul style="list-style-type: none">パール生地(真珠のような色と光沢をもつセルロイド生地)の販売開始	1955年 <ul style="list-style-type: none">硬質塩化ビニル板「タキコンプレート」販売開始	1961年 <ul style="list-style-type: none">大阪証券取引所株式市場第二部に上場	1972年 <ul style="list-style-type: none">ポリプロピレン製排水ます販売開始	1985年 <ul style="list-style-type: none">ポリカーボネート製波板販売開始	2005年 <ul style="list-style-type: none">新雨どいシステム「ジェットライン」販売開始
1963年 <ul style="list-style-type: none">横浜護謨製造株式会社(現横浜ゴム株式会社)と日本ゼオン株式会社など古河グループの共同出資により「ハマ化成株式会社」発足(資本金4億7千3百万円)	1964年 <ul style="list-style-type: none">滋賀県甲賀郡石部町(現湖南市)に滋賀工場を新設	1965年 <ul style="list-style-type: none">農業用ビニルフィルム製造開始	1973年 <ul style="list-style-type: none">東京証券取引所株式市場第一部に上場	1989年 <ul style="list-style-type: none">マイクロモータ販売開始	2007年 <ul style="list-style-type: none">ポリカーボネート樹脂製大型複層パネル「ルメカーボ」販売開始
1966年 <ul style="list-style-type: none">滋賀県甲賀郡石部町(現湖南市)に滋賀工場を新設	1977年 <ul style="list-style-type: none">水膨張性止水材販売開始	1979年 <ul style="list-style-type: none">熱収縮フィルム販売開始	1982年 <ul style="list-style-type: none">兵庫県東播磨郡安富町(現姫路市安富町)に安富工場を新設	1992年 <ul style="list-style-type: none">農業用ポリオレフィンフィルム販売開始	2009年 <ul style="list-style-type: none">ホワイトボードシート販売開始
1979年 <ul style="list-style-type: none">熱収縮フィルム販売開始	1982年 <ul style="list-style-type: none">水膨張性止水材販売開始	1980年 <ul style="list-style-type: none">粘着剤付化粧シート「ベルビアン」販売開始	1982年 <ul style="list-style-type: none">水膨張性止水材「ピノンハイドロタイト」販売開始	1993年 <ul style="list-style-type: none">タキロンコーポレートカラーを制定	2017年 <ul style="list-style-type: none">タキロン株式会社とシーアイ化成株式会社は経営統合し「タキロンシーアイ株式会社」に社名変更
1982年 <ul style="list-style-type: none">水膨張性止水材「ピノンハイドロタイト」販売開始	1985年 <ul style="list-style-type: none">ポリカーボネート製波板販売開始	1982年 <ul style="list-style-type: none">水膨張性止水材「ピノンハイドロタイト」販売開始	1982年 <ul style="list-style-type: none">水膨張性止水材「ピノンハイドロタイト」販売開始	1994年 <ul style="list-style-type: none">マンション向け防滑性ビニル床シート「タキストロンQA」販売開始	2019年 <ul style="list-style-type: none">岡山県新見市に岡山工場を新設